

異分野融合共同研究のワークショップの開催と公募（補完）研究の公募について

平成26年7月1日
農研機構生研センター

平成26年度革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）については、4分野の拠点研究機関候補が決定したことから、ワークショップの開催等、現時点での情報をお知らせいたします。

○ ワークショップの開催

（1）開催要領

① 医学・栄養学との連携による日本食の評価

- ・ 拠点研究機関：京都大学医学研究科
- ・ 試験研究計画名：世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証
- ・ 開催日時：調整中
- ・ 開催場所：調整中
- ・ ワークショップ問い合わせ先：
075-751-3111（京都大学医学部附属病院）
- ・ 拠点研究機関が提案した大課題：
 1. 健康に資する日本食の特徴に関する臨床栄養学的検討
 2. 日本食の歴史・現状を踏まえた定義の確立
 3. 日本食の「おいしさ」の科学的検証
 4. 地域コホートによる健康に資する日本食の検討
 5. 日本食が運動機能に与える影響の評価

② 情報工学との連携による農林水産分野の情報インフラの構築

- ・ 拠点研究機関：名古屋大学学術研究・産学連携推進本部
- ・ 試験研究計画名：ICT 活用農業事業化・普及プロジェクト
- ・ 開催日時：調整中
- ・ 開催場所：調整中
- ・ ワークショップ問い合わせ先：
052-788-6143（名古屋大学研究協力部社会連携課）
- ・ 拠点研究機関が提案した大課題：
 1. 農林水産業ICTの社会実装を促進するサービスサイエンスによるシステム分析
 2. 共通データベース・情報共有システムの構築
 3. 情報入力・通信環境の整備

4. センサーの機能の検討と低価格化のための研究
5. 各種コンテンツの開発
6. 社会実装の実証試験

③ 工学との連携による農林水産物由来の物質を用いた高機能素材等の開発

- ・拠点研究機関：信州大学先鋭融合研究領域研究群カーボン科学研究所
- ・試験研究計画名：農林水産物由来のナノ材料の創成と応用の開拓
- ・開催日時：調整中
- ・開催場所：調整中
- ・ワークショップ問い合わせ先：
026-269-5201（信州大学カーボン科学研究所）
- ・拠点研究機関が提案した大課題：
 1. 農林水産物粗原料のナノ化・高純度化処理技術の開発
 2. 複合素材開発に最適な構造を有するナノセルロース調製法等の確立
 3. 農林水産物由来物質とのナノコンビネーション化のためのカーボンナノチューブの分散技術の開発
 4. 農林水産物由来ナノセルロース等とナノカーボンの複合化による物性（機械強度、軽量等）や機能（電気・熱伝導性等）が優れた新規先端材料の開発
 5. 農林水産物由来物質を原料とする高機能性ナノカーボン材料の開発とエネルギー貯蔵デバイス等への応用

④ 理学・工学との連携による革新的ウイルス対策技術の開発

- ・拠点研究機関：岡山大学自然科学研究科（工学科）
- ・試験研究計画名：先導・革新的人工核酸結合タンパク質を用いたウイルス不活性化技術の確立と社会実装
- ・開催日時：調整中
- ・開催場所：調整中
- ・ワークショップ問い合わせ先：
086-251-8194（岡山大学大学院自然科学科研究科化学生命工学専攻）
- ・拠点研究機関が提案した大課題：
 1. 人工核酸結合タンパク質創出法の確立
 2. 抗ウイルス剤の開発
 3. ウイルス耐性農作物の創出
 4. 高感度ウイルス検出法の開発

(2) ワークショップの運営について

- ①ワークショップは、拠点研究機関と(独)農研機構生研センターが共同で開催します。
- ②各分野のワークショップは原則として次のような進め方を想定しています。
 - 1) 午後開催
 - 2) ワークショップ開催方法案
 - 全体会議 国：異分野研究推進の考え方及び研究戦略の説明
拠点研究機関：計画研究の概要
生研センター：公募（補完）研究の公募スケジュール
 - 課題別会議 研究戦略の大課題毎に、国内研究機関から研究シーズ等発表。